



U S B スマートメディア、コンパクトフラッシュ、フロッピーディスク ドライブ

U S B トライメディアリーダー YD-8V00

ユーザーズマニュアル



149260-01 Rev. A1

YD-8V00 ご使用上の重要なご注意	
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドライバソフトをインストールする前に、トライメディアリーダーをパソコンに接続しないように、ご注意ください。 ■ トライメディアリーダーのUSBケーブルを抜き差しするとき、本体パソコンの電源をオンオフする時は、あらかじめ全てのメディアを取り出して下さい。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解、改造はしないで下さい。故障、火災、感電の原因となります。 ■ 水気の多い場所での使用、保管は行わないで下さい。本製品内部に液体がはいると、故障、火災、感電の原因となります。 ■ 対応メディア以外は、挿入しないで下さい。硬貨、クリップ等の金属片を差し込みますと、故障、火災、感電の原因となります。 ■ ドライブユニットのランプが点灯している状態で、メディアを取り出さないで下さい。 ■ 本製品は、一般的電器機器に使用されることを意図して設計されております。故障や誤動作が、人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある特別な品質、信頼性を要求される装置（航空宇宙機器、原子力制御システム、交通機器、輸送機器、産業ロボット、燃焼機器、各種安全装置、生命維持装置等）には、使用しないで下さい。

VCCI に基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

その他のご注意

本製品使用中に、本製品やフロッピーディスク、スマートメディア™、コンパクトフラッシュ等の事故、故障等により記録データの破壊、消失が生じた場合の損害については補償いたしかねます。また、本製品の使用により、お客様のご期待に添わない結果となった場合にも、その結果につきましては責任を負いかねます。

Apple、Mac、Macintosh は、Apple Computer 社の登録商標です。

コンパクトフラッシュ、CompactFlash は、SanDisk Corporation 社の登録商標です。

IBM は、IBM Corporation 社の登録商標です。

Microsoft Windows は、Microsoft Corporation 社の登録商標です。

スマートメディア、SmartMedia は、株式会社 東芝の登録商標です。

Y-E Data は、株式会社 ワイ・イー・データの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または、登録商標です。

目次

1. 概要	4
1.1. トライメディアリーダー (Y D - 8 V 0 0) の特徴	4
1.2. 動作環境	4
1.3. 付属品	5
1.4. サポートするメディア	5
1.5. 各部の名称	6
1.6. 操作上のご注意	6
2. Macintosh でお使いの場合	7
2.1. ドライバソフトウェアのインストール手順	7
2.2. 操作方法	9
3. Windows PC でお使いの場合	12
3.1. Windows 98 (SE) / Windows Millennium Edition (Me)でのインストール	12
3.2. Windows 2000 でのインストール方法	17
3.3. Windows での操作方法	21
4. 仕様	23
4.1. 機械仕様	23
4.2. 電気仕様	23
4.3. 環境仕様	23
5. 取扱い上のご注意	24
6. 技術サポートの問い合わせ先	24

1. 概要

USB トライメディアリーダー (Y D - 8 V 0 0) は、デジタルカメラ等でつかわれている、カードタイプの記憶メディアであるスマートメディア、コンパクトフラッシュと、フロッピーディスクの3つのメディアを読み書きできるUSB接続のドライブです。

1.1. トライメディアリーダー (Y D - 8 V 0 0) の特徴

- 1) スマートメディア、コンパクトフラッシュ、フロッピーディスクの3種類のメディアが取り扱えます。
- 2) パソコンを再起動することなく、USBケーブルの接続、取り外しが行えます。
- 3) Macintosh、Windows 98、Windows Millennium Edition、Windows 2000 と、幅広い環境でお使いになれます。
- 4) USB ケーブルからの電源供給のみで動作しますので、ACアダプタ等は必要ありません。
- 5) IBM 社の Microdrive がお使いになれます。

1.2. 動作環境

PC	OS (オペレーティングシステム)	備考
Macintosh	Mac OS 8.6	iMac
	Mac OS 9.0	Power Mac G3 / G4
	Mac OS 9.0.4	iBook
Windows	Windows 98	
	Windows 98 Second Edition (SE)	
	Windows Millennium Edition (Me)	
	Windows 2000	

備考：

- 1) トライメディアリーダーは、Mac OS 8.1 および Mac OS 8.5.1 では動作致しません。お使いになるには、Mac OS 8.6 以降にアップデートして下さい。OS のアップデートについては、以下のアップルコンピュータ社の Web サイトを参照下さい。

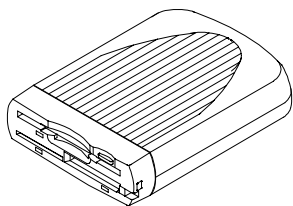
http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/macos8.6_update.html

- 2) Mac OS 9.0.2 および Mac OS 9.0.3 では、USB 機器を接続した状態で電源を ON にすると、スタート時にハングアップする不具合が報告されています。該当する OS をお使いの方は、Mac OS 9.0.4 以降にアップデートして下さい。この不具合についての詳細は、以下のアップル社の Web サイトにある、テックインフォライブラリ (ID 25139JC) を参照下さい。

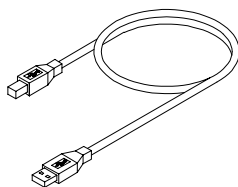
<http://til.info.apple.co.jp/cgi-bin/WebObjects/TechInfo.woa/1/wa/showTIL?id=25139JC>

1.3. 付属品

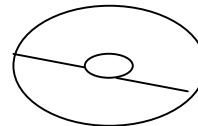
トライメディアリーダー本体



USB ケーブル



Driver CD-ROM



および、本ユーザーズマニュアル

1.4. サポートするメディア

1) フロッピーディスク

メディア	フォーマット	サポート	備考
2HD	1.44 MB DOS フォーマット	リード、ライト フォーマット	Windows Macintosh
	1.4 MB Mac フォーマット	リード、ライト フォーマット	Macintosh のみ
	1.7 MB Microsoft DMF *1	リードのみ	Windows のみ
	1.25 MB DOS フォーマット (NEC PC-9801) *2	リード、ライトのみ	Windows のみ
	1.21 MB DOS フォーマット (東芝 ダイナブック)	リード、ライトのみ	Windows のみ
2DD	720 KB DOS フォーマット	リード、ライト フォーマット	Windows Macintosh
	640 KB DOS フォーマット	リード、ライトのみ	Windows のみ
	800 K Mac フォーマット	未サポート	

注意：

*1 Windows 95 のインストールフロッピー等で使われている特殊フォーマットです。

*2 富士通 FMR 等、MS-DOS Ver 2.11 以前の MS-DOS で書かれた一部のフロッピーディスクは、Windows 98 では読み取れません。

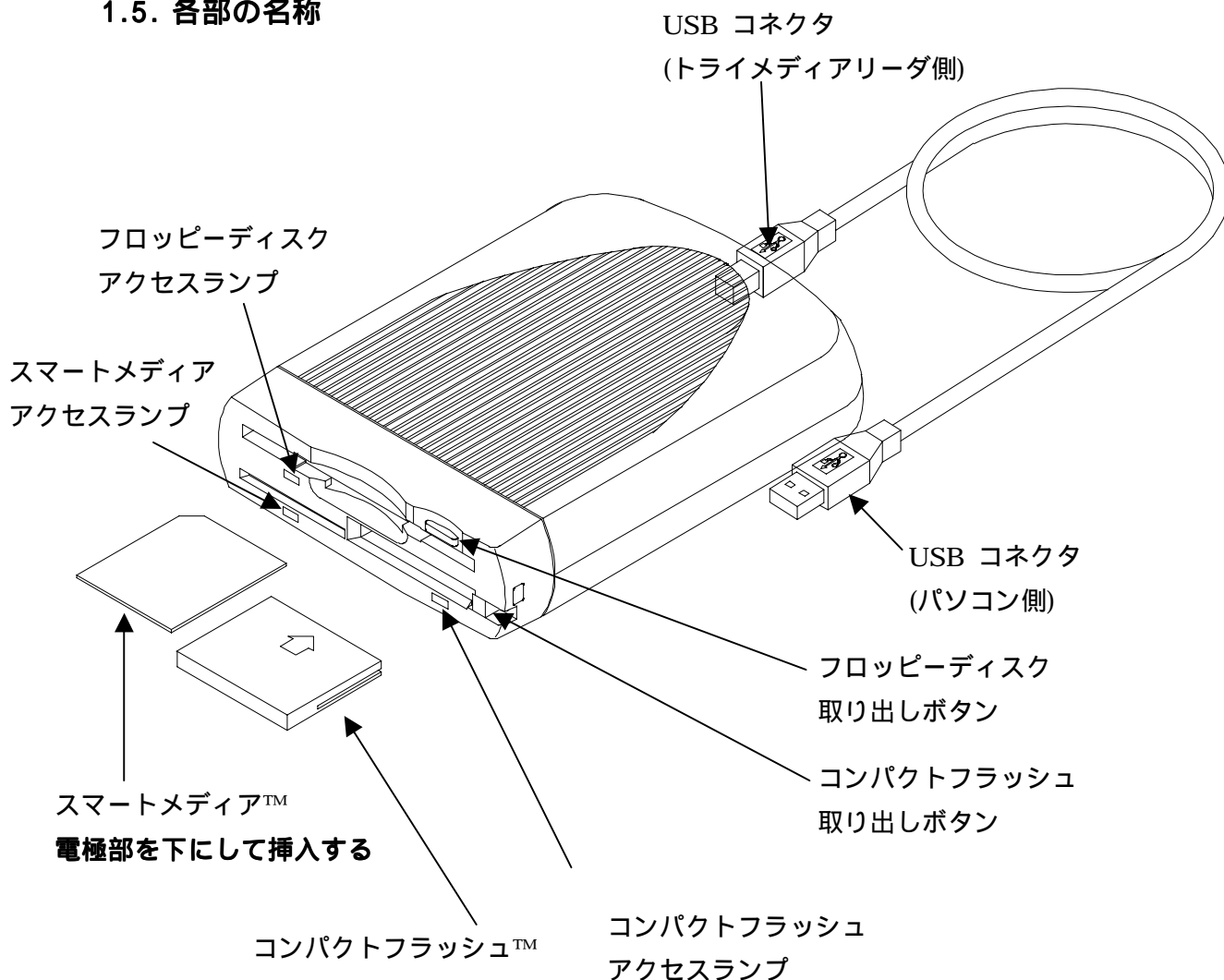
2) スマートメディア

DOS フォーマットされた 1 MB から 64 MB のカード (128 MB は、サポート予定) 3.3V タイプのみサポートしています。5V タイプはお使いになれません。

3) コンパクトフラッシュ

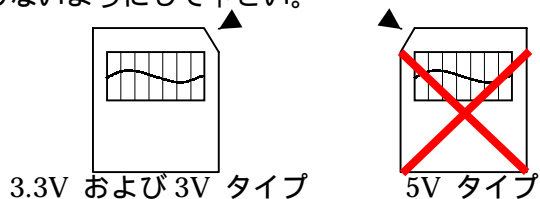
DOS フォーマットされた、Type I および Type II (IBM Microdrive) カードストレージカードのみで、モデム、LAN、PHS カード等はお使いになれません。

1.5. 各部の名称



1.6. 操作上のご注意

- 1) USB ケーブルを接続する前に、ドライバソフトウェアをインストールして下さい。
- 2) 3.3V および 3V タイプのスマートメディアのみサポートしています。5V タイプは、挿入しないようにして下さい。



- 3) スマートメディア™を挿入するときは、金色の電極部が下側になるようにして下さい。
- 4) スマートメディア、コンパクトフラッシュは、奥までしっかり挿入して下さい。
- 5) IBM 社のマイクロドライブをお使いになる場合は、単体で使用して下さい。マイクロドライブと他のメディアを同時に挿入しますと、電力が不足してエラーの原因になります。

2. Macintosh でお使いの場合

2.1. ドライバソフトウェアのインストール手順

トライメディアリーダーのUSBケーブルをMacintoshに接続する前に、ドライバソフトウェアをインストールする必要があります。インストーラは、英語バージョンですので、インストール中の表示は英語になりますが、ドライバソフトウェア自体は日本語に対応しています。

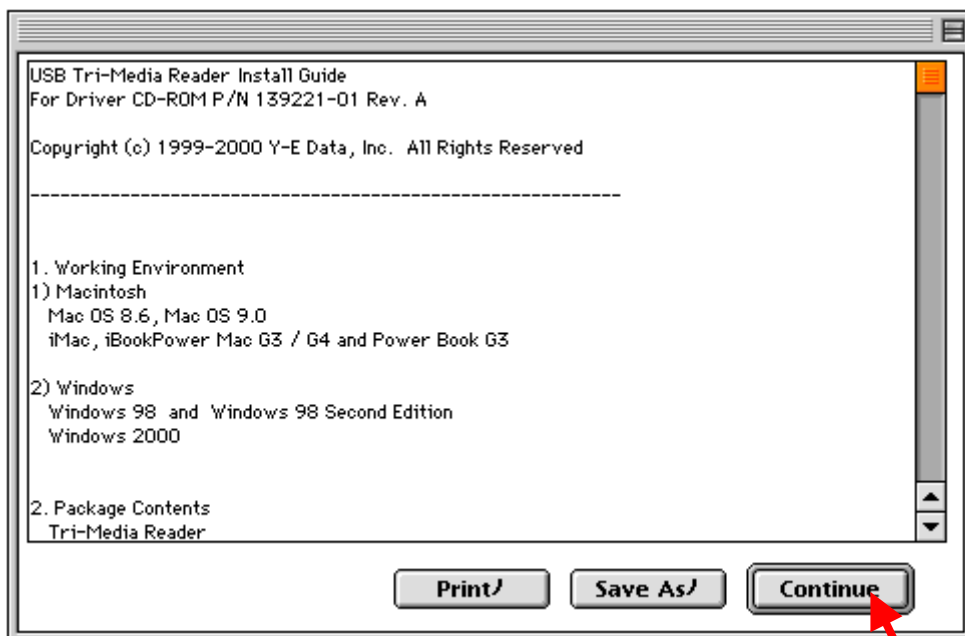
- 1) Mac OS を起動して下さい。
- 2) Driver CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。CD-ROM を挿入すると、CD-ROMのウィンドウが自動的に開きます。もし開かない場合は、CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開いて下さい。
- 3) Tri-Media Reader Installer のアイコンをダブルクリックして、起動して下さい。



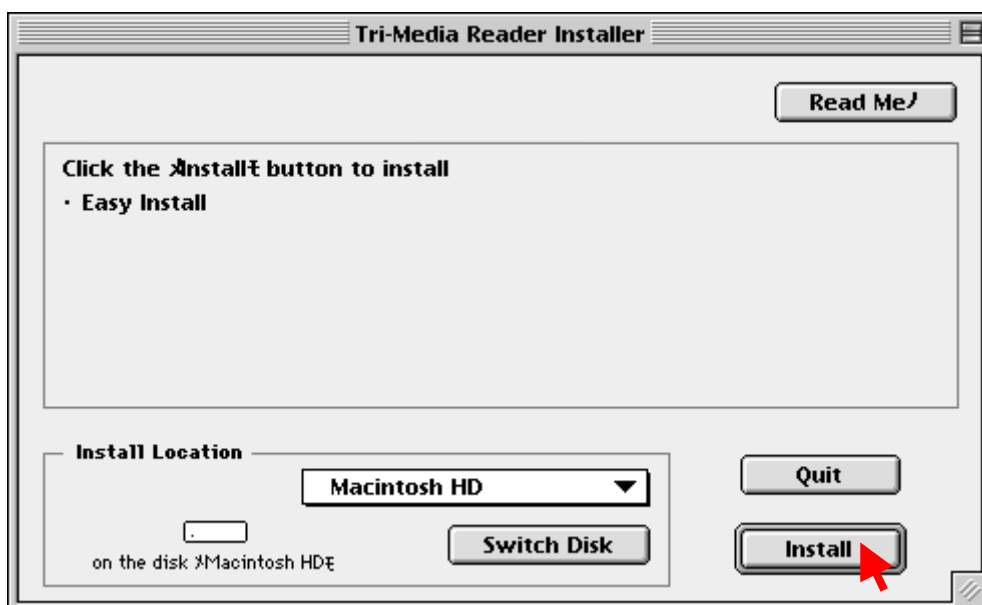
- 4) インストールソフトの起動画面が表示されますので **Continue** ボタンをクリックして次に進めて下さい。



- 5) 英語で説明が出ますが、内容はこの説明書と同じです。Continue ボタンをクリックして次に進めて下さい。



- 6) Install ボタンをクリックしてインストールを開始して下さい。インストール先を起動したハードディスクと別なハードディスクに変更する場合は、Switch Disk ボタンをクリックして Install Location を目的のハードディスクに変更してから、Install ボタンをクリックして下さい。



- 7) 下記画面が表示されれば、インストールが正常に終了しました。**Restart** ボタンをクリックして、Macintosh を再起動して下さい。



- 8) Mac OS が再起動しましたら、トライメディアリーダーを、Macintosh 本体の USB コネクタへ、USB ケーブルで接続して下さい。キーボード上の USB コネクタへ接続すると動作しませんので、必ず Macintosh 本体の USB コネクタへ接続して下さい。

2.2. 操作方法

1) メディアの挿入

トライメディアリーダーへ、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、フロッピーディスク等のメディアを挿入すると、デスクトップ上に、メディアに対応するアイコンが表示されて、アクセス可能になります。



フロッピー
ディスク

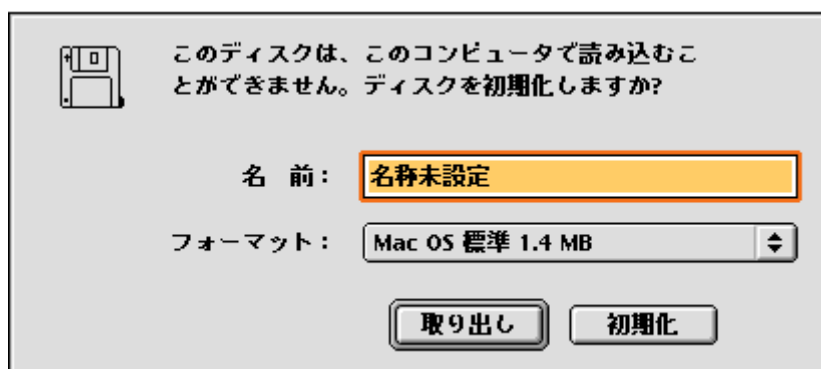


スマート
メディア



コンパクト
ディスク

初期化されていないか、認識出来ないフォーマットのフロッピーディスクが挿入されると、以下のような表示になります。



初期化を行っても良い場合は、**初期化**ボタンをクリックして初期化して下さい。通常は、**取り出し**ボタンをクリックしてから、ディスクを取り出して下さい。

デジタルカメラをお使いで、スマートメディア、コンパクトフラッシュを挿入して、上記画面が出た場合は、メディアが壊れています。**取り出し**ボタンをクリックして取り出して下さい。初期化を行う場合は、出来るだけデジタルカメラで行い、Macintoshでは、初期化を行わないようにして下さい。Macintoshで初期化を行いますと、フォーマットの仕様の違いから、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

2) メディアの取り出し

トライメディアリーダーは、ドアロック機構や、オートイジェクト機構は付いていません。メディアを取り出す時は、下記のアンマウント操作を行って、デスクトップ上からアイコンが消えたことを確認してから、行って下さい。

アンマウント操作は、メディアをドラッグしてごみ箱にドロップ（メディアのアイコンをごみ箱の上に重ねて、ごみ箱が黒く反転表示になってから、マウスボタンを離す操作）するか、メディアのアイコンをクリックしてから、ファインダーの「特別」メニューから「取り出し」を選ぶことで行います。アンマウント操作を行わないまま、いきなりメディアを取り出しますと、ハングアップや、メディアのデータが壊れることがあります。



フロッピーディスクと、コンパクトフラッシュは、取り出しボタンを押すことにより、取り出せます。スマートメディアは、取り出しボタンはありませんので、そのまま引き抜いて下さい。

3) USBケーブルの接続と取り外し

USBケーブルの接続は、必要になった時点で自由に行えます。USBケーブルの取り外しは、2)の説明に従って、予め全てのメディアをアンマウントしてから、行って下さい。

メディアをアンマウントしないまま、USBケーブルを抜きますと、ハングアップや、メディアのデータが壊れることがあります。

4) IBM社のマイクロドライブ

IBM社のコンパクトPCカード型ハードディスクであるマイクロドライブもお使いになれますが、大きな電力を必要としますので、お使いになる場合は、単体で使用して下さい。

マイクロドライブと他のメディアを同時に挿入しますと、電力不足の為に、ハングアップすることがあります。マイクロドライブを挿入する時は、予め、スマートメディアとフロッピーディスクを取り出して下さい。また、マイクロドライブを挿入中は、スマートメディア やフロッピーディスクは挿入しないように注意して下さい。

5) スリープ

トライメディアリーダーは、Macintoshのスリープに対応していますが、出来るだけ、スリープ前にメディアのアンマウント操作を行うことをお勧めします。また、お使いのMac OSのバージョンやMacintoshの種類によって動作に支障がある場合があります。この場合は、スリープ前に、全てのメディアのアンマウント操作を行ってから、USBケーブルを取り外して下さい。

スリープ中は、メディアの挿入や取り出し、USBケーブルの抜き差しは行わないようにして下さい。

特に、ノートブック型のMacでは、スリープ中にUSBケーブルの抜き差しを行うと自動的にウエークアップする為に、意図しない電池の消耗や、ハードディスクの起動が発生しますので、持ち運び時には、必ず、全メディアをアンマウントしてから、USBケーブルを取り外して下さい。

3. Windows PC でお使いの場合

トライメディアリーダーのUSBケーブルをWindows PCに接続する前に、ドライバソフトウェアをインストールする必要があります。インストーラは、Windows 98 / Windows Millennium Edition (Me) / Windows 2000 を自動判別して、必要等ライバソフトウェアをインストールします。

3.1. Windows 98 (SE) / Windows Millennium Edition (Me)でのインストール

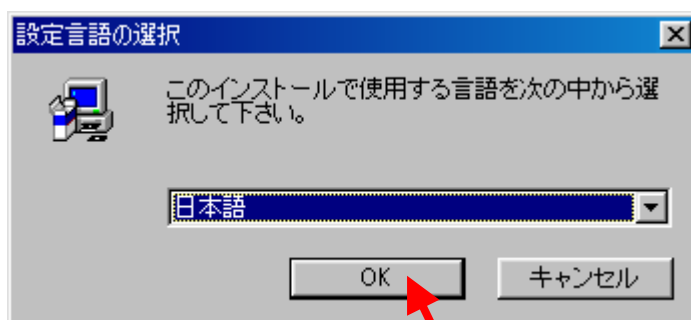
Windows 98 では、インストール中に、Windows のインストール用 CD-ROM が必要になる場合がありますので、手元に用意しておいて下さい。

- 1) Windows PC の電源をオンにしてWindows が完全に立ち上がったことを確認して下さい。
- 2) ドライバCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入して下さい。しばらくすると、インストーラが自動起動します。

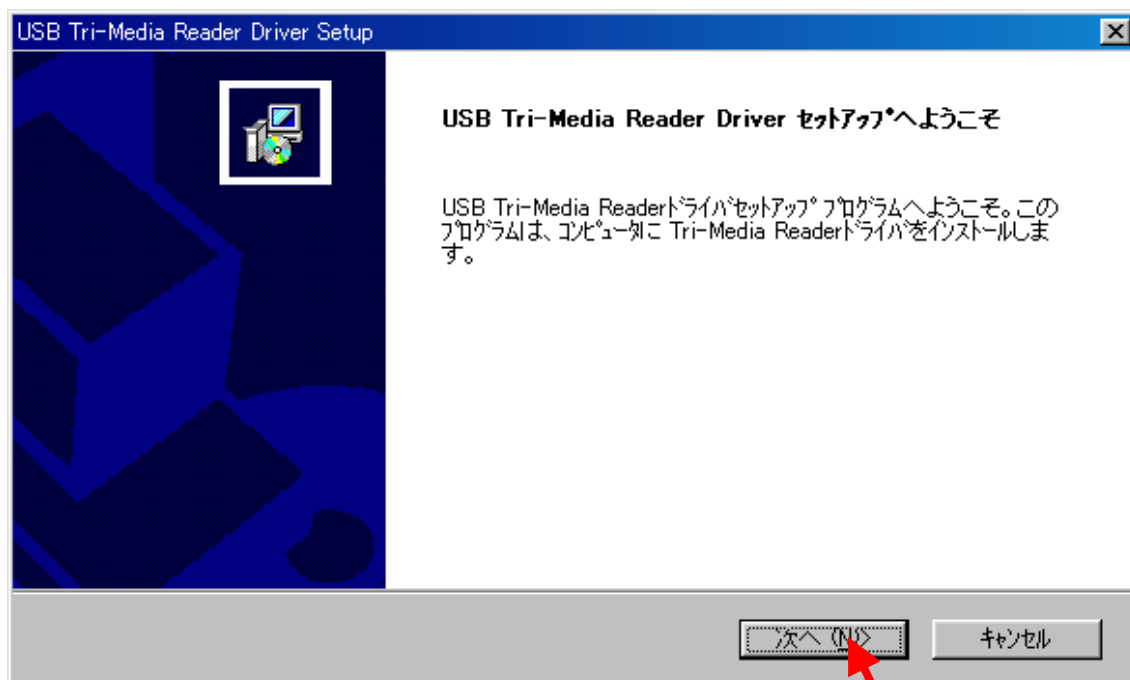
CD-ROMの自動起動を設定していない等の理由で、インストーラが自動起動しない場合は、CD-ROM内の Setup.exe のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動して下さい。



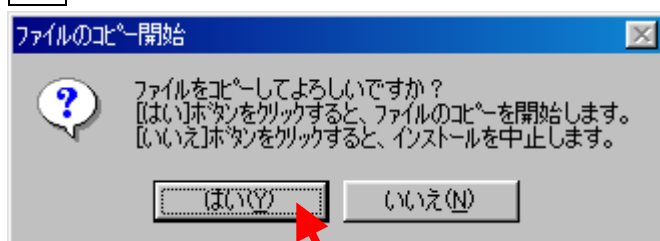
- 3) インストーラが起動しますと、以下の言語選択画面になります。日本語と英語が選べますが、通常は日本語を選択して、**OK**ボタンをクリックして下さい。



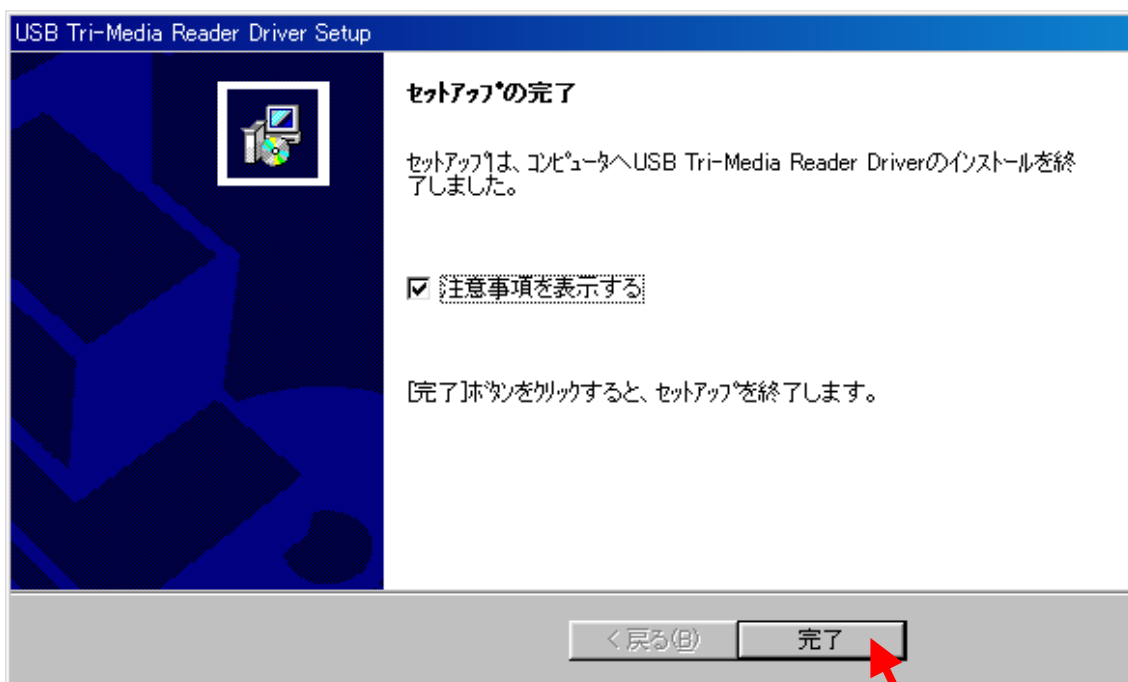
- 4) **次へ** ボタンをクリックして、進めて下さい。



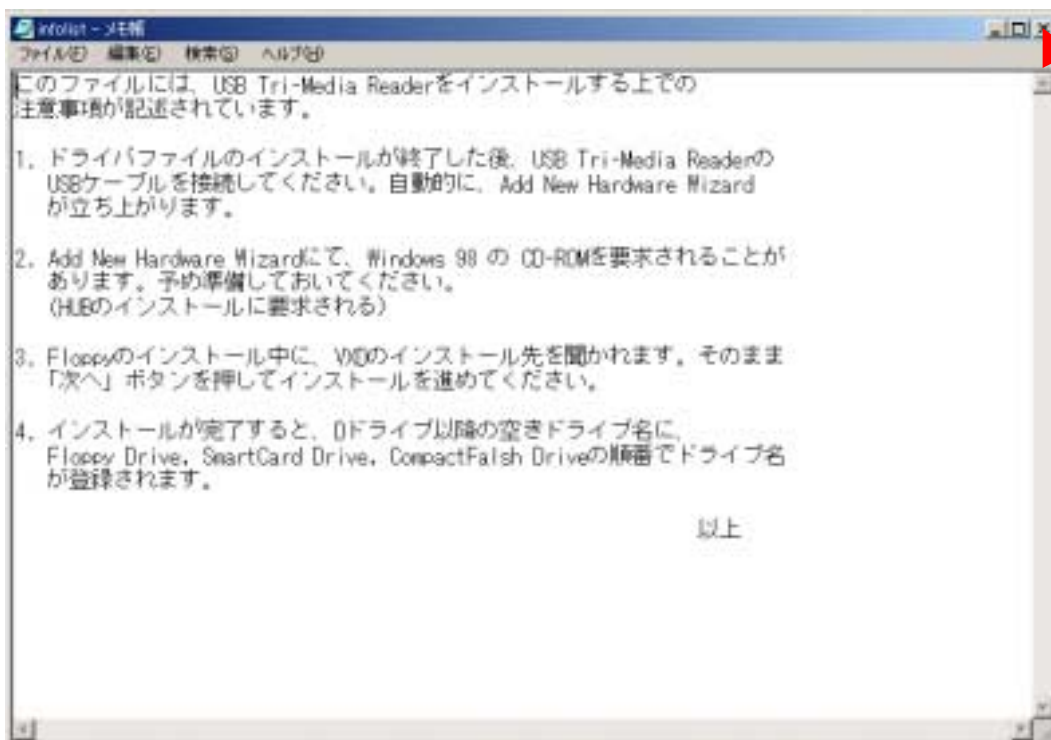
- 5) **はい** ボタンをクリックすると、必要なファイルのコピーが始まります。



- 6) 以下の表示が出れば、必要なドライバソフトウェアのコピーは終了しました。
完了ボタンをクリックして下さい。



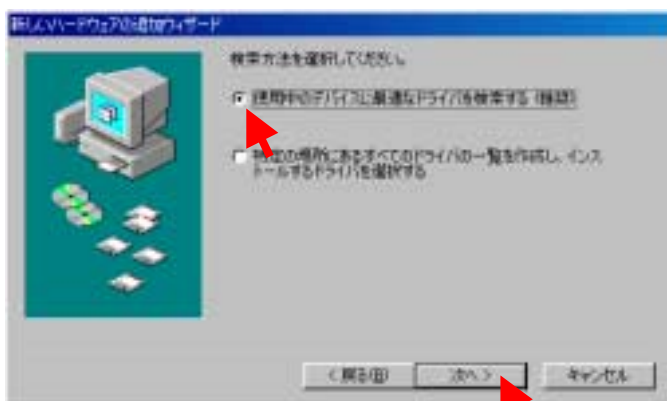
- 7) 注意事項がメモ帳等のテキストエディタで開きますので、目を通していただいた上でメモ帳等を終了して下さい。



- 8) トライメディアリーダーの USB ケーブルを、Windows PC に接続して下さい。Windows は、自動的に、トライメディアリーダーを認識して、新しいハードウェアの追加作業が自動的に行なわれます。
- 9) 一部の Windows 98 PC では、新しいハードウェアの追加ウィザードで、「汎用 USB ハブ」の検索画面が出る場合があります。この場合は、以下の手順に従って、「汎用 USB ハブ」のドライバを Windows 98 CD-ROM からインストールして下さい。



「次へ」のボタンをクリックする



「使用中のデバイスに最適等ライバを検索する」を選択して、「次へ」のボタンをクリックする。



Windows の標準ドライバで動作しますので、検索場所の選択のチェックマークは、全て外した状態で、「次へ」のボタンをクリックして下さい。



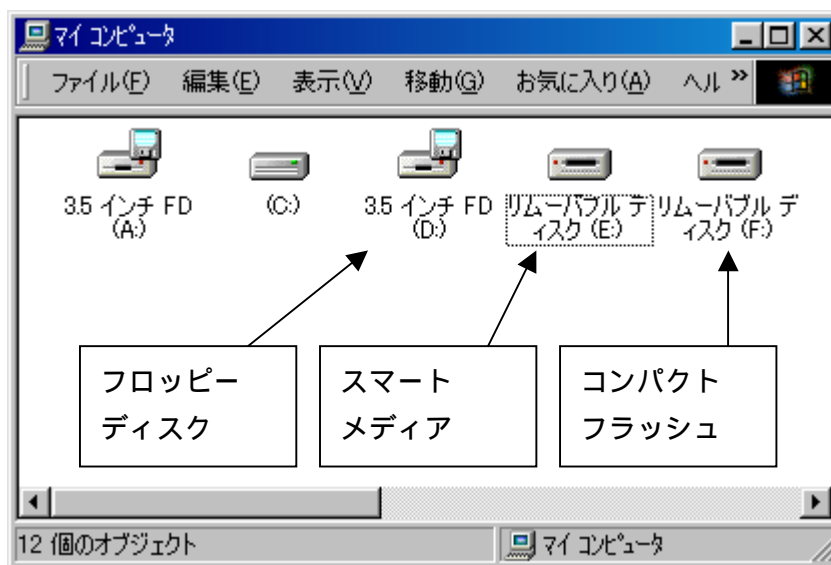
「次へ」のボタンをクリックして下さい。

ここで、Windows 98 CD-ROM の挿入を要求される場合があります。その場合は、Windows 98 の CD-ROM を挿入して下さい。



完了ボタンをクリックして、汎用ハブのドライバのインストールを終了して下さい。続けて、USB FDD 等のインストールが自動的に始まります。

- 10) 数分後、全ての機器の認識が終了しましたら、マイコンピュータに、3.5 インチフロッピーディスク 1 つと、リムーバブルディスク 2 つの合計 3 つのドライブアイコンが追加されます。リムーバブルディスクは、ドライブ名が前の方がスマートメディア™用となり、後ろの方が、コンパクトフラッシュ 用となります。これで、インストールは終了です。



ご注意

ドライブ A は内蔵 FDD です。

ドライブ名は、お使いの PC の環境により異なります。

3.2. Windows 2000 でのインストール方法

トライメディアリーダのUSBケーブルを接続する前に、ドライバソフトウェアのインストールを行う必要があります。

Windows 2000 のインストーラは、英語バージョンですので、インストール中の表示は英語となりますが、ドライバソフトウェア自体は、日本語 OS に対応しています。

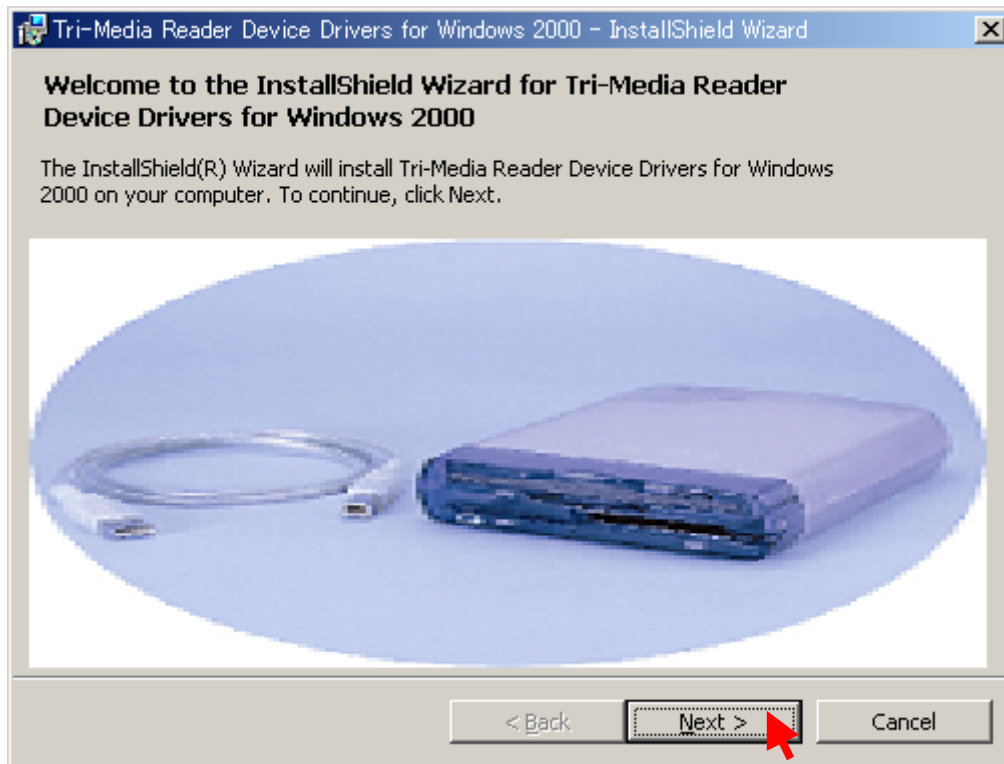
- 1) Windows PC の電源をオンにして Administrator 権限のあるユーザ名で Windows 2000 にログオンして下さい。
- 2) ドライバCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入して下さい。しばらくすると、インストーラが自動起動します。CD-ROMの自動起動を設定していない等の理由で、インストーラが自動起動しない場合は、CD-ROM内の Setup.exe のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動して下さい。



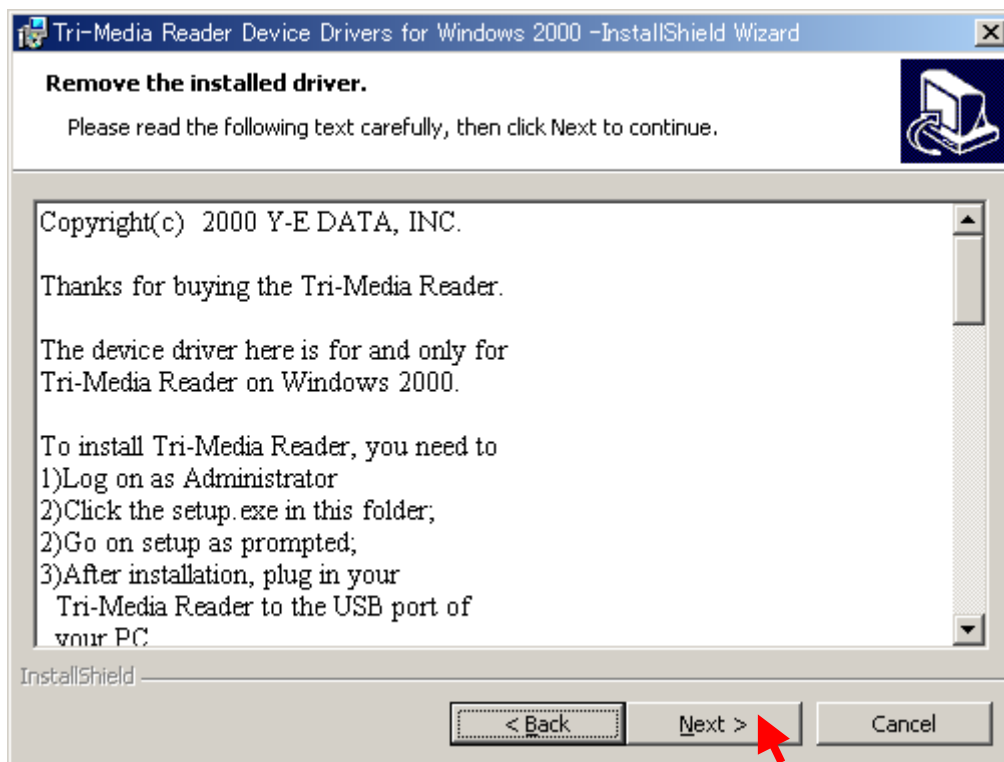
- 3) インストーラが起動しますと、以下の画面となります。Continue ボタンをクリックしてインストールを進めて下さい。



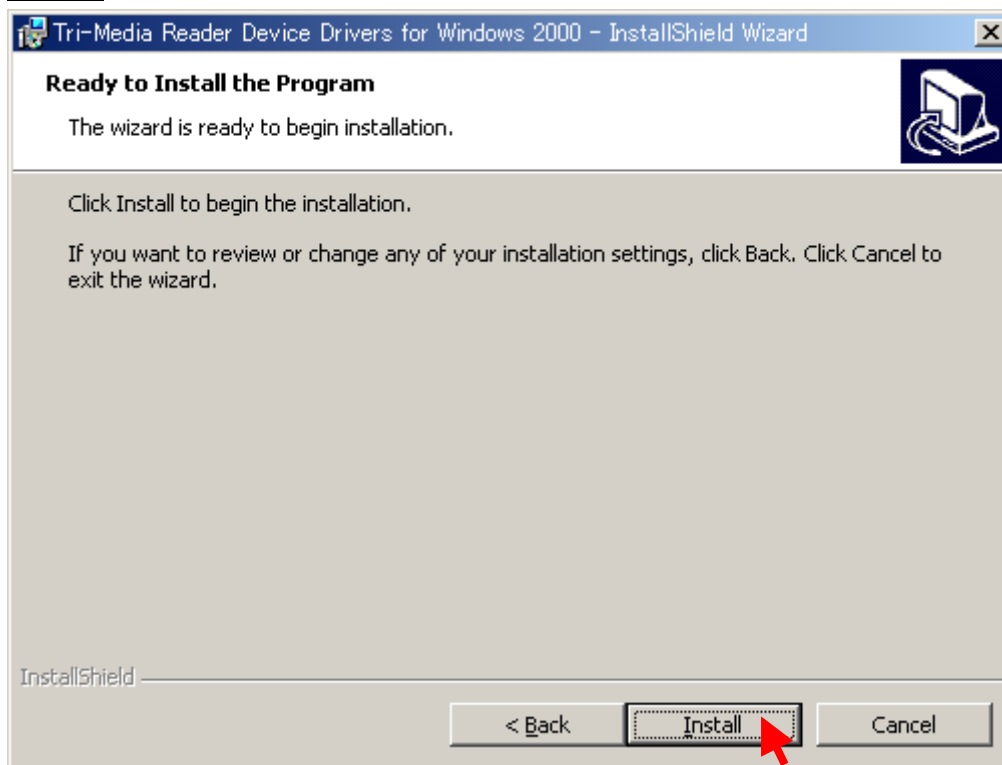
- 4) **Next>** ボタンをクリックして、次に進めて下さい。



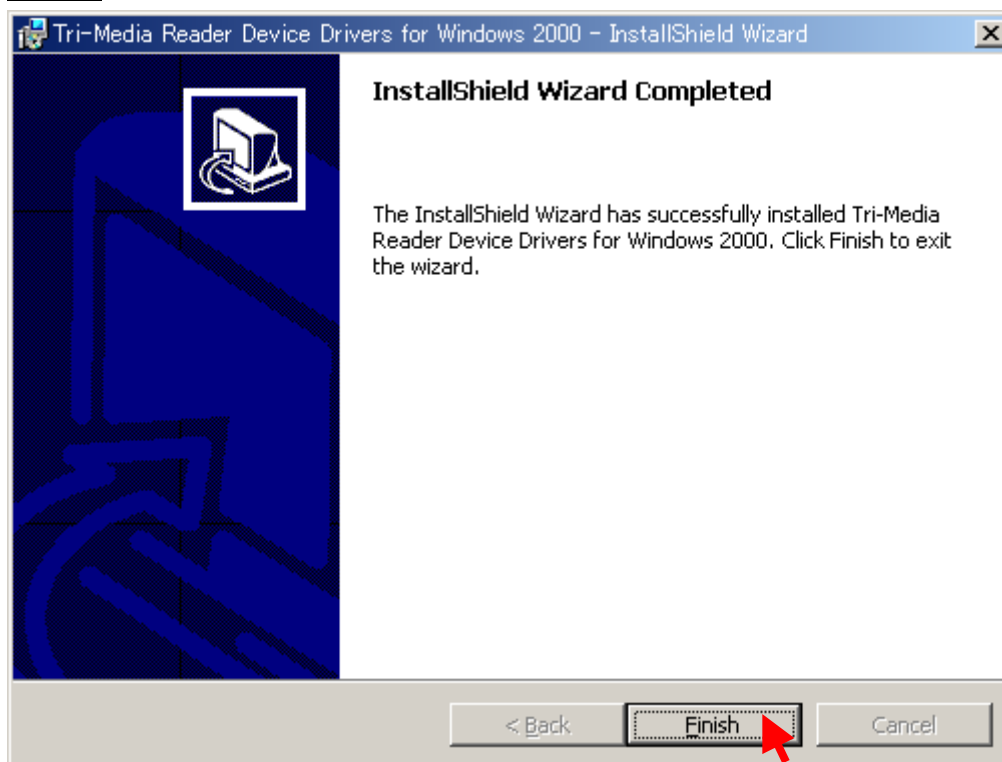
- 5) 英語で説明が出ますが、内容はこの説明書と同じです。**Next>**ボタンをクリックして次に進めて下さい。



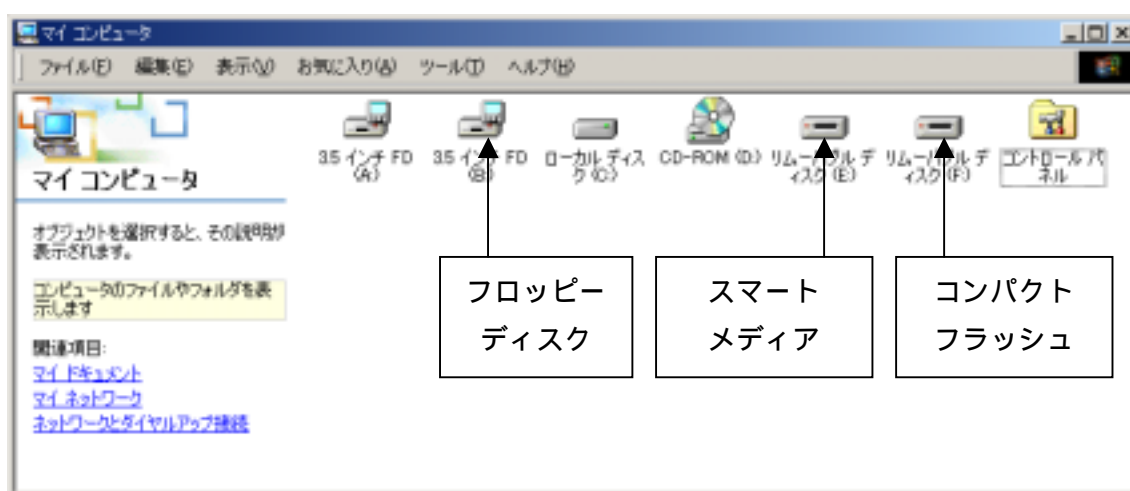
- 6) **Install** ボタンをクリックして、インストールを開始して下さい。



- 7) **Finish** ボタンをクリックしてインストーラを終了させて下さい。



- 8) トライメディアリーダーの USB ケーブルを、Windows PC に接続して下さい。Windows は、トライメディアリーダーを自動的に認識して新しいハードウェアの追加作業を自動的に行います。
- 9) 数分後、全ての機器の認識が終了しましたら、マイコンピュータに、3.5 インチフロッピーディスク 1 つと、リムーバブルディスク 2 つの合計 3 つのドライブアイコンが追加されます。リムーバブルディスクは、ドライブ名が前の方がスマートメディア™用となり、後ろの方が、コンパクトフラッシュ 用となります。これで、インストールは終了です。



ご注意) ドライブ名(B:)等は、お使いのPCの環境により異なります。

3.3. Windows での操作方法

1) メディアの挿入

メディアを挿入してから、マイコンピュータの該当のアイコンをダブルクリックすると、メディア内のデータが表示されます。

2) メディアの取り出し

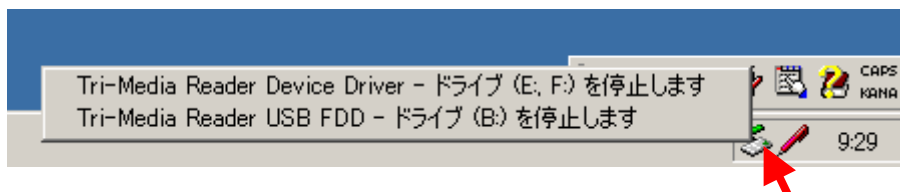
メディア内のファイルをアプリケーションで開いていたり、ファイルのコピーをしていないことを確認してから、メディアを取り出して下さい。また、画面上ではコピーが終わったように見えても、実際にはアクセス中の場合があります。取り出し前にアクセスランプが完全に消えていることを確認して下さい。アクセス中に、メディアを取り出しますと、青画面になったり、メディアのデータが壊れることがあります。

3) USBケーブルの接続

USBケーブルは、電源をオンにする前か、Windows が完全に立ち上がってから、接続して下さい。Windows の起動中に接続しますと、正しく認識できない場合があります。USB ケーブルを接続してから、マイコンピュータに3つのドライブのアイコンが全て出るまで、1分程度かかります。

4) USBケーブルの取り外し

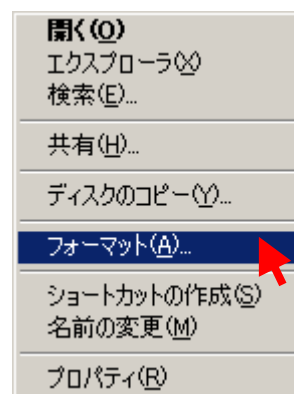
全てのメディアを取り出してから、USBケーブルを取り外して下さい。Windows 2000 では、タスクトレイ内の取り外しアイコンをクリックして、Tri-Media Reader の Device Driver と USB FDD の両方を停止してから、USBケーブルを取り外して下さい。



5) メディアのフォーマット

メディアのフォーマットは、マイコンピュータから、該当するドライブのアイコンを右クリックして、メニューからフォーマットを選択して行います。

デジタルカメラをお使いの方は、Windows でフォーマットを行うと、フォーマットの仕様の違いから、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。スマートメディア、コンパクトフラッシュ をフォーマットする場合は、デジタルカメラでフォーマットして下さい。



6) IBM 社のマイクロドライブ

IBM社のコンパクトPCカード型ハードディスクであるマイクロドライブもお使いになれますが、大きな電力を必要としますので、お使いになる場合は、単体で使用して下さい。

マイクロドライブと他のメディアを同時に挿入しますと、電力不足の為に、ハングアップすることがあります。マイクロドライブを挿入する時は、予め、スマートメディアとフロッピーディスクを取り出して下さい。また、マイクロドライブを挿入中は、スマートメディア やフロッピーディスクは挿入しないように注意して下さい。

7) スタンバイ

Tri-Media Reader は、PC2000 規格のスタンバイ機能をサポートしていますが、全てのPCのスタンバイをサポートしている訳ではありません。お使いのPCにてスタンバイ動作で不具合が発生する場合は、スタンバイ前にUSBケーブルを取り外して下さい。スタンバイ中には、メディアの挿入、取り外し、ケーブルの接続、取り外しは行わないようにして下さい。

4. 仕様

4.1. 機械仕様

	項目	仕様
本体	外形 (突起含まず)	113±1 mm (幅) × 152±1 mm (長さ) × 33±1mm (高さ)
	質量	385 g (TYP)
	色	フロントベゼル : NF グレー ケース : フローズン ホワイト
	本体材料	ABS
	足材料	CR ラバー
ケーブル	長さ	約 700 mm
	外皮材料	PVC
	色	フローズン ホワイト
	ケーブル線径	28 AWG
	ケーブル仕様	28 AWG 1ペア

4.2. 電気仕様

項目	仕様
電源電圧	DC 4.40 V to 5.25 V
消費電流	500 mA (TYP) *3
取得規格	UL、cUL、CE、FCC-Class B、VCCI Class B

*3 マイクロドライブ使用時を除きます。

電源電圧 5.0 V で、一般的なフロッピーディスクを使用した場合です。

4.3. 環境仕様

項目	動作時	非動作時
温度	5 ~ 40 °C	-40 ~ 60 °C
湿度	30 ~ 80 %RH	結露しないこと
最大湿球温度	29 °C	-----
振動	9.8 m/s ² (10 ~ 200 Hz) (1.0G)	19.6 m/s ² (10 ~ 500 Hz) (2.0G)
掃引時間 : 5.6 分 試験時間 : 各方向 10 分 掃引方向 : XYY'	4.9 m/s ² (200 ~ 500 Hz) (0.5G)	
衝撃	49 m/s ² (11 ms ハーフサイン波) (5.0G)	980 m/s ² (11 ms ハーフサイン波) (100G)
衝撃方向 : XYY' 衝撃回数 : 各方向 20 回		
静電耐圧	IEC 61000-4-2 厳しさレベル3に準拠	

5. 取扱い上のご注意

- 1) トライメディアリーダーは、生産工場にて精密に調整されている、精密機器です。落下したり振動、衝撃を与えますと故障の原因となります。
- 2) トライメディアリーダーを持ち運ぶ時は、フロッピーディスク、スマートメディア、コンパクトフラッシュの全てのメディアを取り外して下さい。メディアを挿入したまま持ち運びますと、故障の原因となります。
- 3) コンパクトフラッシュ、スマートメディアをフォーマットする時は、デジタルカメラで行うようにして下さい。トライメディアリーダーでフォーマットを行うと、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。
- 4) コンピュータの電源を入れるときは、予め全てのメディアを取り外しておいて下さい。
- 5) スマートメディアを挿入する時は、金色の端子が下側になるように挿入して下さい。
- 6) スマートメディアで、読み取りエラーが出る場合は、金色の端子が汚れていないかご確認下さい。
- 7) メディアを取り出す時は、アクセスランプが消灯していることを、ご確認下さい。コンピュータの画面上ではアクセスが終わったように見えても、OSのキャッシュ機構や遅延書き込み機能で、実際のアクセスが終了していない場合があります。アクセス中にメディアを取り出すと、データが壊れたり、故障の原因となります。
- 8) 著作権で保護されたデータは、コピーしないようにして下さい。違法となる場合があります。
- 9) トライメディアリーダーは、ID付きスマートメディアのID情報はサポートしていません。ID付きスマートメディアは、通常のメディアとしての使用は可能です。
- 10) フラッシュパス等の、フロッピーディスクアダプタは、サポートしていません。
- 11) コピープロテクトされたフロッピーディスクは、トライメディアリーダーでは読み取りできない場合があります。
- 12) トライメディアリーダーのフロッピーディスク、スマートメディア、コンパクトフラッシュからは、コンピュータを起動できません。
- 13) 常駐型のウイルスソフトをお使いになると、動作が異常に遅くなったりハングアップしたりする場合があります。この場合は、トライメディアリーダーのメディアをチェックの対象から外して下さい。
- 14) Windows PCにて、古いUSB OHCIコントローラのPCの場合、動作が異常に遅くなったり、ハングアップしたりする場合があります。この場合、Windows 98 SE以降にバージョンアップすると、改善できる場合があります。お使いのパソコンのメーカーに問い合わせして下さい。

6. 技術サポートの問い合わせ先

技術情報、最新ドライバソフト等の公開先	http://www.yedata.co.jp/support (日本語) http://www.yedata.com/support (英語)
電子メールでの問い合わせ	mailto:support@yedata.co.jp